

2017年9月25日

各位

オリックス株式会社

東名高速道路「厚木 IC」より 3km の物流施設 「(仮称)厚木Ⅱロジスティクスセンター」着工 ～延床面積 9,955 坪 2018 年 8 月竣工予定～

オリックス株式会社(本社:東京都港区、社長:井上 亮、以下「オリックス」)は、8 月より、物流施設「(仮称)厚木Ⅱロジスティクスセンター」(所在:神奈川県厚木市長谷 123 他、以下「本物件」)の建築工事に着手しましたのでお知らせします。本物件の竣工は 2018 年 8 月を予定しており、現在入居企業を募集しています。

本物件は、第一東海自動車道(通称:東名高速道路)「厚木インターチェンジ(IC)」より約 3km に位置します。都心部へのアクセスが便利なことに加え、首都圏中央連絡自動車(通称:圏央道)と結節点の「海老名ジャンクション(JCT)」にも近いため、都心部の渋滞を回避して首都圏周辺部へのアクセスが可能であり、広域配送拠点として優れた立地です。また、人口 22 万人の厚木市は一般道 25km 圏内に相模原市(72 万人)、藤沢市(42 万人)、平塚市(25 万人)などを擁し、足元人口が多いことからエリア配送拠点としても適しています。さらに、周辺人口が多いことは、物流施設運営に欠かせない労働力確保の面においても有利です。

本物件は、1 階に 47 台分の屋内トラックバース(※)を配置し、4 基の荷物用エレベーターや事務所スペースなど、複数テナントに分割対応できる仕様を備えています。また、法定規準を上回る屋内消火栓や防火水槽に加え、連結送水管を自主設置するなど、万一の災害に備えた機能を装備しています。さらに、BCP 対策として、非常用発電機を導入し、非常時でも荷物用エレベーターや事務所の照明の使用を一定時間継続させることで、物流機能の停滞回避が可能です。

オリックスは、今後も進化を続けるサプライチェーンや、発展し続けるインターネット通販市場にも対応できる最新鋭の物流施設の開発事業を進めてまいります。

※トラックバース … トラックと施設の間で荷物の積卸しをするためにトラックを接車するスペース

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス株式会社 グループ広報部 石井・松川

TEL:03-5418-4313

【物件概要】

名称	: (仮称)厚木Ⅱロジスティクスセンター
所在地	: 神奈川県厚木市長谷 123 他
交通手段	: 東名高速道路「厚木インターチェンジ」から約 3.1km 小田原厚木道路「厚木西インターチェンジ」から約 2.7 km 小田急電鉄小田原線「愛甲石田」駅から約 1.9km(徒歩 23 分)
設計会社	: 浅井謙建築研究所株式会社
施工会社	: 株式会社小島組、株式会社鴻池組
敷地面積	: 16,754.55 m ² (5,068.25 坪)
延床面積	: 32,909.98 m ² (9,955.26 坪)
規模・構造	: 鉄骨造 4 階建
その他	: 倉庫床荷重 1.5 t/m ² 梁下有効高 5.5m
着工	: 2017 年 8 月
竣工	: 2018 年 8 月 (予定)

【完成予想図】



【地図】

